

# 馬車道通信

新年度  
に向けて

No. 8 相談・情報スポット から

## 助成金を活用しましょう!



子ども・若者や子育てに関わる活動の充実には、財源の確保が不可欠です。現在募集中の助成団体を掲載しました。新しい年度に向け、助成金の募集数が増えます。ぜひ活用し、活動を充実させていきましょう。  
※この他にも情報があります。詳しくは窓口のスタッフにお尋ね下さい。

助成制度名（公募先）	助成対象	助成金額	募集期間
トコモ市民活動団体への助成 NPO 法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド事務局	「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する活動団体	上限額 50~100万円 (1件あたり)	2014/3/1~4/21
子育て家庭支援団体に対する助成 生命保険協会	就学前の子どもの保護者等への支援活動を行っている団体	上限額 25万円 (1件あたり)	2014/3/5~4/30
トモ・ワークス企画コンテスト 公益財団法人 安藤林・ツ・食文化振興財団	子どもたちが参加する、自然の中での体験活動を主催する団体	学校部門・一般部門 (計 50 団体): 各 10 万円、他に各賞により支援金あり	2014/2/1~5/17
子供たちの環境学習活動に対する助成事業 公益財団法人 高原環境財団	日本国内の保育園、幼稚園、小学校、および子供会、町内会の地域活動団体	上限額 50万円 (1件あたり)	2014/2/1~5/23
藤本倫子環境保全活動助成基金 公益財団法人 日本環境協会	子どもたちが興味をもって自主的に取り組む、身の回りの自然の調査・観察や、環境についての学習などに対する活動団体	上限額 10万円 (1件あたり)	2014/4/15~6/10



### ~シンポジウム~ 「子どもの話をきくということ」

子どもの話をきくということの重要性について、これまでも繰り返し強調されてきました。子どもの話をきくようにしているという大人も多いと思います。しかし、果たして子どもは自分の話を大人に分かってもらった、共感を持って聞いてもらえたと考えているのでしょうか。子どもの訴えを正確に受け取るのは、私たちが考えている以上に難しいことなのかもしれません。

本シンポジウムでは、実際に子どもから話をきく事を専門の職業とされている方をお招きしたうえで、その具体的な手法を紹介し、それぞれの立場からのディスカッションを行うことで、あらためて「子どもの話をきく」ということの意義を共有し、その重要性を再認識したいと思います。

- 日程：平成 26 年 5 月 17 日（土）  
午後 1 時 30 分～4 時 30 分
- 場所：旭区民文化センターサンハート  
(横浜市旭区二俣川 1-3 二俣川 5F)
- 参加費：無料（申込不要） ■定員：300 人
- 問合せ：  
NPO 法人こどもセンターてんぽ  
TEL/045-473-1959 FAX/045-477-5822  
E-mail/info@tempo-kanagawa.org  
http://www.tempo-kanagawa.org/
- パネルディスカッション  
コーディネーター：影山秀人（弁護士、てんぽ理事代表）  
パネリスト：徳丸のり子（よこはまキッズライン代表）  
山田不二子（医師、CMPN 理事代表）  
前田峰子（神奈川県臨床心理士会会長）



# 利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

## 『桃の会』（第1研修室・和室利用）

懐かしい唱歌・童謡を中心に皆で楽しく歌っています。プロの指導で、気持ちよく声を出して歌うコツを教えてもらえます。どなたでも、1回だけの参加でも大歓迎です。また、年に1～2回、ミニ発表会を企画しています。

＜遠田さん 談＞

### 《若い人へのメッセージ・・・》

歌は人と人をつなげます。世代によって、思い出の曲、好きな曲も異なりますが、唱歌・童謡は三世代で歌うことができ、誰もが共感できる歌詞の曲がたくさんあります。子どもたちが、自分の年代と異なる人とよりよい関係を築くための一つの手段として、ぜひ、唱歌・童謡に親しんでいただきたいと思います。



## 馬車道コラム Vol. 24 アンフォゲッタブル(Unforgettable)

ナタリー・コールという女性シンガーをご存知だろうか。ご年配の方なら、1976年（昭和51年）の東京音楽祭において「ミスター・メロディ（Mr. Melody）」という曲でグランプリを受賞した歌手として記憶されていることと思う。

それから15年たった1991年（平成3年）。彼女は、かつて甘い歌声で多くのジャズファンを魅了した父親ナット・キング・コールとのオーバーダビングによるデュエット版を出し、その年のグラミーを受賞した。残念ながら、その時に父はこの世にはおらず、コンサートでは大きなスクリーンに映る、父親のビデオをバックに歌うという形で二人のデュエットが披露された。

父ナット・キング・コールは、もともとピアニストだったが、歌手としての活動が今もって有名である。「アンフォゲッタブル（Unforgettable）」「モナリザ（Mona Lisa）」「スターダスト（Star Dust）」「ルート66（Rout 66）」「トゥー・ヤング（Too Young）」「スマイル（Smile）」など多くの名曲がヒットし、未だにラジオやテレビで「オールデイズ」の名曲としてかかることが多い。

ナタリーとナット・キング・コールとの親子関係は実際どうだったかわからないが、それにしても父と娘との関係は、甘美であり、ちょっぴりほろ苦い。小さい頃はまるで恋人のような親密な関係でありながら、思春期を迎える頃になると「つれない娘」に“変身”してしまうのである。

かつてラジオで流れていたガス会社のCMに、小学生と思しき娘と父親のこんなやりとりがあった。

娘「パパ、ひとりでお風呂に入って！」

父「一緒に入ろうよ。」

娘「ひとりで歌の練習したいし…」

ナレーション「その日は必ずやってくる。」

まさに「アンフォゲッタブル（忘れがたい）」な思い出として感じられた方も多いのではないだろうか。

私「ジャズおやじ」もその一人である。甘美な時代はとうに過ぎてしまったが、時々展覧会や落語に二人して出かけることがある。機会があれば、愛娘が大好きな「オムライス」を食べに、馬車道の「S」という喫茶店に行き、甘美な時間を取り戻したいと思っている。（ジャズおやじ）

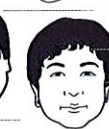


## 今年度もよろしくお願ひします！



日頃は、施設をご利用いただきましてありがとうございます。

平成26年4月1日より横浜市青少年育成センターも新しい職員体制になりました。



- ＜施設部長＞ 平野
- ＜センター長＞ 七澤
- ＜職員＞
- 村石 霜田 齋藤
- ＜コーディネーター＞
- 日向 栗原 永野
- 生田 都丸 小林
- 鈴木

※新しいスタッフは次回お知らせ致します。